

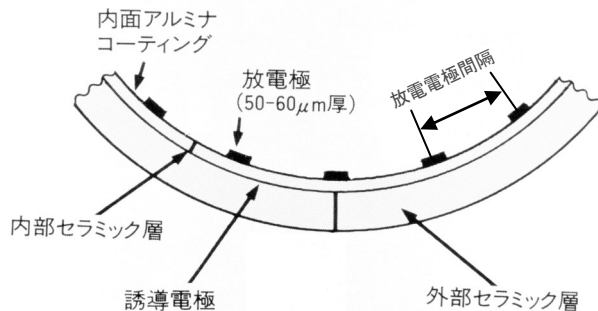
空冷式沿面放電管

OC-70/AC

概要

本空冷式沿面放電管はSPCP (Surface discharge induced Plasma Chemical Process) 技術によって作製した円筒型沿面放電管 (SPCP放電管: OC-70) に空冷フィン、空冷ダクト、ならびにファンを取り付けたものです。フランジ部に取り付けられたガス導入口とガス排出口を有しており、酸素、乾燥空気や処理対象ガスを本放電管に導入することで、オゾン生成やガスのプラズマ処理が可能となります。

SPCP素子の構造



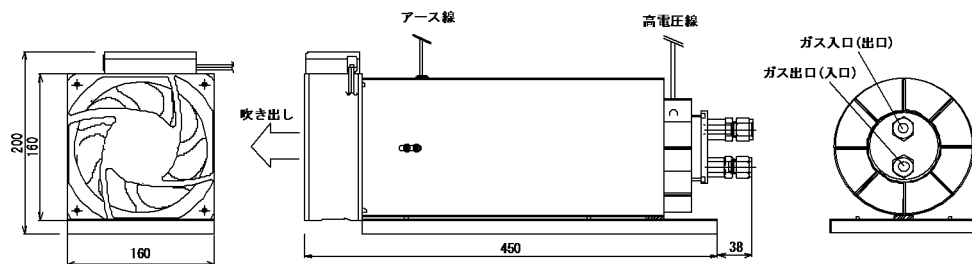
* SPCP素子は高純度アルミナ基板に放電極と誘導電極 (埋設) を配設した複合セラミック素子であって、これに高周波高電圧 (~10kHz, ~10kVpp) を印加することで、放電極からセラミック面上に高周波沿面放電を発生させ常温・常圧下で強力なコールドプラズマを生成することが可能です。



空冷式沿面放電管
OC-70/AC

仕様

型式	OC-70/AC
構成	円筒型SPCP素子 (型式: ET-OC70G-C) に空冷ファン、空冷フィン、空冷ダクト、ならびにステンレス製フランジとガス継手を取り付けたもの
外形	160mmW x 200 mmH x 450mmD (配管突起含まず)
円筒型SPCP素子	型式: ET-OC70G-C (放電電極間隔: 10mm)
温度センサー	放電管過熱検出による運転停止 サーモスタット2ヶ (設定温度120 $^{\circ}$ C)



外形図